

# 会 議 要 旨

会議の名称	世田谷区教育振興基本計画策定委員会（第2回）
開催日時	令和5年7月18日（火曜日） 午前11時00分から 午前12時00分まで
開催方法	オンライン開催
出席者	教育長、教育政策・生涯学習部長、学校教育部長、教育総合センター長、区立幼稚園長代表、区立小学校長代表、区立中学校長代表、区立幼稚園PTA連絡協議会代表、区立中学校PTA連合協議会代表、学校運営委員代表（小学校）、学校運営委員代表（中学校）、社会教育委員代表、青少年委員代表、スポーツ推進部長、保健福祉政策部長、子ども・若者部長、世田谷保健所所長、教育総務課長
欠席者	区立小学校PTA連合協議会代表、総合支所地域振興課長代表

会議概要・質疑事項・回答内容	
1	子どもの意見聴取について（ワークショップ実施概要・実施内容）・・・事務局より説明
2	世田谷区教育振興基本計画（素案）について・・・事務局より説明
	意見交換【ワークショップについて】
	<p>（出席者より）</p> <p>【学校運営委員代表（中学校）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの本音が聞ける場面は素晴らしい。</li> </ul> <p>【区立中学校PTA連合協議会代表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップでは子どもたちが子どもたち自身だけでなく、先生や周りの大人のことに目も向けていることがわかった。</li> </ul> <p>【学校運営委員代表（小学校）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、このような形式の会は開催する予定はあるのか。もう少し、いろいろな意見が出るといいのではないか。</li> </ul>
	<p>（事務局より）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップは兵庫県立大学の竹内教授に司会進行いただき、ファシリテーターを研究会所属の3名に務めていただいた。アイスブレイクやテーマに基づいた発表を繰り返すことで、子どもたちはとてもリラックスできた。また、小・中学生混合でグループ分けをし、中学生が小学生をリードする場面も多く見られ、子どもたちの素直な意見を引き出すことができた。</li> <li>・ワークショップについては教育振興基本計画策定にあたり5月に開催したが、現時点で同様の会を開催する予定はない。今後は、生徒会サミットなどの子どもたちが話し合う場を設けている。来年度以降、教育委員会の施策を推進していくうえで、各所管課が子どもの意見を聞くためにワークショップやアンケートを実施することが必要になると考えている。</li> </ul>
	意見交換【教育振興基本計画（素案）の構成などについて】
	<p>（出席者より）</p> <p>【区立中学校長代表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすくまとまっていて、大切なことが網羅されている。学校が意識して実行していくことが重要になる。</li> </ul> <p>【区立小学校長代表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施計画（行動計画）を作成していくにあたって、子どもを中心にした様々な部分を詳しく決めていく必要があり、それは学校現場の役目でもある。</li> </ul> <p>【学校運営委員代表（小学校）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの基本方針について、実現をしていくためにはアクションをしていかなければならない。どのような予定で具体的にどのようなことをしていくのか。</li> </ul> <p>【青少年委員代表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の現場にどれだけ教育目標が浸透しているのか聞いてみたい。</li> </ul>
3	

- (事務局より)
- ・教育目標や基本方針の実現に向けては、施策を整理し、今後進めていく。
- (教育長より)
- ・教育の現場の声も聞きながら策定を進めていきたいと考えている。

意見交換【教育振興基本計画（素案）の教育目標と基本方針について】

- (出席者より)
- 【区立中学校PTA連合協議会代表】
- ・基本方針2にあるように、多様性を受け入れて、どのような子どもも生活しやすいようにしていくことが必要。
- 【区立幼稚園長代表】
- ・基本方針2に「日本への愛着」という言葉があり、昨今世界に目を向けやすい中、まず地域や日本を第一に考えることが示されていることに共感できた。
  - ・教育目標へとつながる考え方の「自分のよさや可能性を信じる」という言葉は、すべての基本方針を通して実現していくものだと思うので、今後、実施計画（行動計画）を作成する際に、より具体的にすると、現場の、特に若い人にもわかりやすくなると思う。
- 【区立幼稚園PTA連絡協議会代表】
- ・地域で子どもを育てられるという安心感がある。また、基本方針3に「インクルーシブ教育」が記載されていて、地域として支えてもらえるという安心感がある。
- 【社会教育委員代表】
- ・「日本への愛着」、「地球の一員として行動する」という言葉を大切にし、みんなそれぞれに価値があるということを社会教育の中で子どもだけでなく、地域の人も共に成長し、教育目標をもとにつなげていけたらよいと思う。

- (教育長より)
- ・「自分のよさや可能性を信じる」という言葉は、子どもだけでなく大人になっても重要な基盤となる考え方である。分かりやすい表記の方法も必要ではないかと思う。
- (センター長より)
- ・高校や大学、企業とつながっていくことは、教育総合センターでは幼稚園・小・中学校の全体的なキャリアプランとして考えている。インクルーシブ教育も今後教育の分野だけでなく、社会全体として進めていかなければならないので、教育委員会としても少しずつ進めていきたい。

事務局  
(会議要旨作成所管)

教育総務課教育計画・事務調整